

研究課題：再発、難治性多発性骨髄腫に対するカルフィルゾミブを用いた化学療法の後方視的解析

研究の概要：多発性骨髄腫に対する様々な新規薬剤が国内でも治療に使えるようになり、これらを用いることで、これまでよりも高い治療効果が期待されています。カルフィルゾミブはプロテアソーム阻害薬であり、前治療に抵抗性を示す症例においても有効性が期待されております。他方、これらの新しい治療をより安全に行うためにも、長期の有効性ととも有害事象の把握は、より安全に治療を行う上で必須であります。

今回私たちは当院における多発性骨髄腫に対するカルフィルゾミブの治療成績を把握し、今後の治療方針に役立てるべく後方視的研究を行うことを計画しました。

対象：2016年8月1日から2017年9月30日までに多発性骨髄腫に対してカルフィルゾミブを使用された患者様を対象としています。

研究の方法：診療録を元に、患者さんの検査値、治療成績、副作用を解析します。

倫理的配慮：個人情報保護は十分に配慮を行い解析します。個人名が特定されないよう患者さんの情報は匿名化され利用されます。上記対象に該当する患者さんで、本研究への登録をご希望されない方は下記までご連絡ください。

日本赤十字医療センター 血液内科

研究責任医師：岡塚貴世志

電話番号：03-3400-1311(代表)